

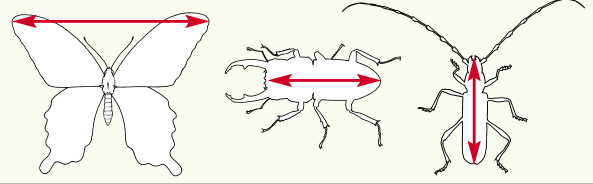
夏の虫図鑑

この調査で調べる夏の虫の代表的な種を写真で紹介しました。虫の仲間を見分けるときには体の大きさや形が重要です。てびきの写真や図鑑と見くらべながら探してください。

また、探す仲間によっては、見つけにくいものもあります。観察のポイントや、虫を寄せるコツも紹介しましたので参考にしてください。

体の大きさとは

頭先の先（頭部先端）からお腹の先（腹部末端）までの長さ（体長）で、触覚や足は含みません。ただし、アゲハチョウの仲間だけは、はねを広げたときの横幅を示してあります。



アゲハチョウの仲間

広い林の周辺に生息するものから、市街地や集落に分布を広げているものまで、種によって生息する環境が違います。しかし、どのアゲハチョウの仲間も、林の中やその縁に草が密生してくるとすみにくくなります。

- 対象** 成虫
- 体の大きさ** はねを広げて約6~10cm
- 体の色** 黒いものや、黄色いもの、水色が目立つものなどがあります。
- 探すコツ** 林で目立つ花や道端の水たまりに飛んできます。



キアゲハ



モンキアゲハ



クロアゲハ



ジャコウアゲハ

赤いトンボの仲間

林に飛来し、小さな虫を食べてひと夏を過ごします。近くに水辺があるところや、林の縁の草が密生していないところに飛んできます。ただし、高原や山の頂などでは、必ずしも近くに水辺があるとは限りません。

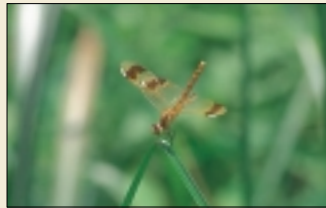
- 対象** 成虫
- 体の大きさ** 約3~6cm
- 体の色** 赤味がかかったものから、オレンジ色をしたものまであります。また、体の一部だけが赤い種もいます。
- 探すコツ** 道端の葉の上や枯れ枝の先にとまっています。



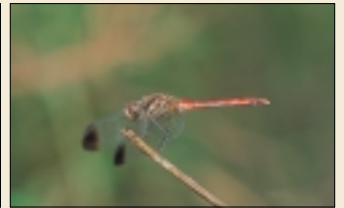
アキアカネ



ムユタテアカネ



ミヤマアカネ



リスアカネ

カマキリの仲間

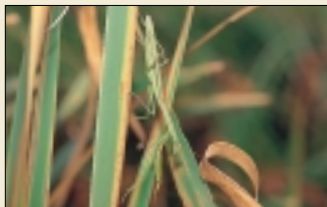
大型で肉食の虫です。林の縁やその近くの草むらにすんでいて、餌となる小さな虫がたくさんいるところに多いようです。

北海道では、函館周辺にオオカマキリが分布するだけです。

- 対象** 成虫と幼虫
- 体の大きさ** 約3~9cm（成虫）
- 体の色** 緑色が目立つものや、こげ茶色が目立つものなどがあります。
- 探すコツ** 咲いている花や、その近くの葉、茎にとまっています。



オオカマキリ



オオカマキリ



コカマキリ



ハラビロカマキリ（幼虫）

クワガタムシの仲間

樹液や腐った果実に集まり、幼虫は朽ち木の中で育ちます。林の中の草が密生するところはくらしにくくなります。

- 対象** 成虫のオス。見つからなかったら成虫のメスでも構いません。
- 体の大きさ** 約2~6cm
- 探すコツ** 薄暗い林では、日中でも樹液にきています。樹液の中や、木の裂け目に潜り込んでいたりするため、注意深く探してみよう。樹液が見つからなかったら、バナナなど腐らせた果実で引き寄せることもできます（*1）。この仲間については、頭の部分が落ちていたら、その写真を撮っていただいても構いません。



ノギリクワガタ



クワガタ



アカアシクワガタ



ミヤマクワガタ